

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|--|---|
| (整理番号) 065 | 提案機関名 県央家畜保健衛生所 |
| 要望問題名 「かながわ鶏」の飼養管理技術の確立 | |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ・ 県畜産技術センターで作出した「かながわ鶏」の生産農場への本格的な配布が平成28年度からスタートした。今後、生産羽数を拡大していくなかで、初めて鶏を飼養する農場の参画も見込まれるため、出荷まで順調に発育する良質なヒナの供給が望まれる。 ・ そのため、配布の26日齢までにおける本鶏種に適したサプリメント飼料などの給与について検討していただきたい。 | |
| 解決希望年限 | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター |
| 備考 | |

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| | | | |
|---|--|-------------|-------|
| 回答機関名 | 畜産技術センター | 担当部所 | 企画研究課 |
| 対応区分 | ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可 | | |
| 試験研究課題名 (①、②、④の場合) かながわ鶏の飼養管理技術の確立 (H29～33) | | | |
| 対応の内容等 かながわ鶏のヒナは初生、26日齢で配付することになっており、ほとんどが26日齢での配付となっています。 良質なヒナを安定して供給するため平成29年度からヒナの初期栄養管理技術の向上に取り組んでおり、飼料添加剤の給与について検討しているところです。 | | | |
| 解決予定年限 | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 | | |
| 備考 | | | |